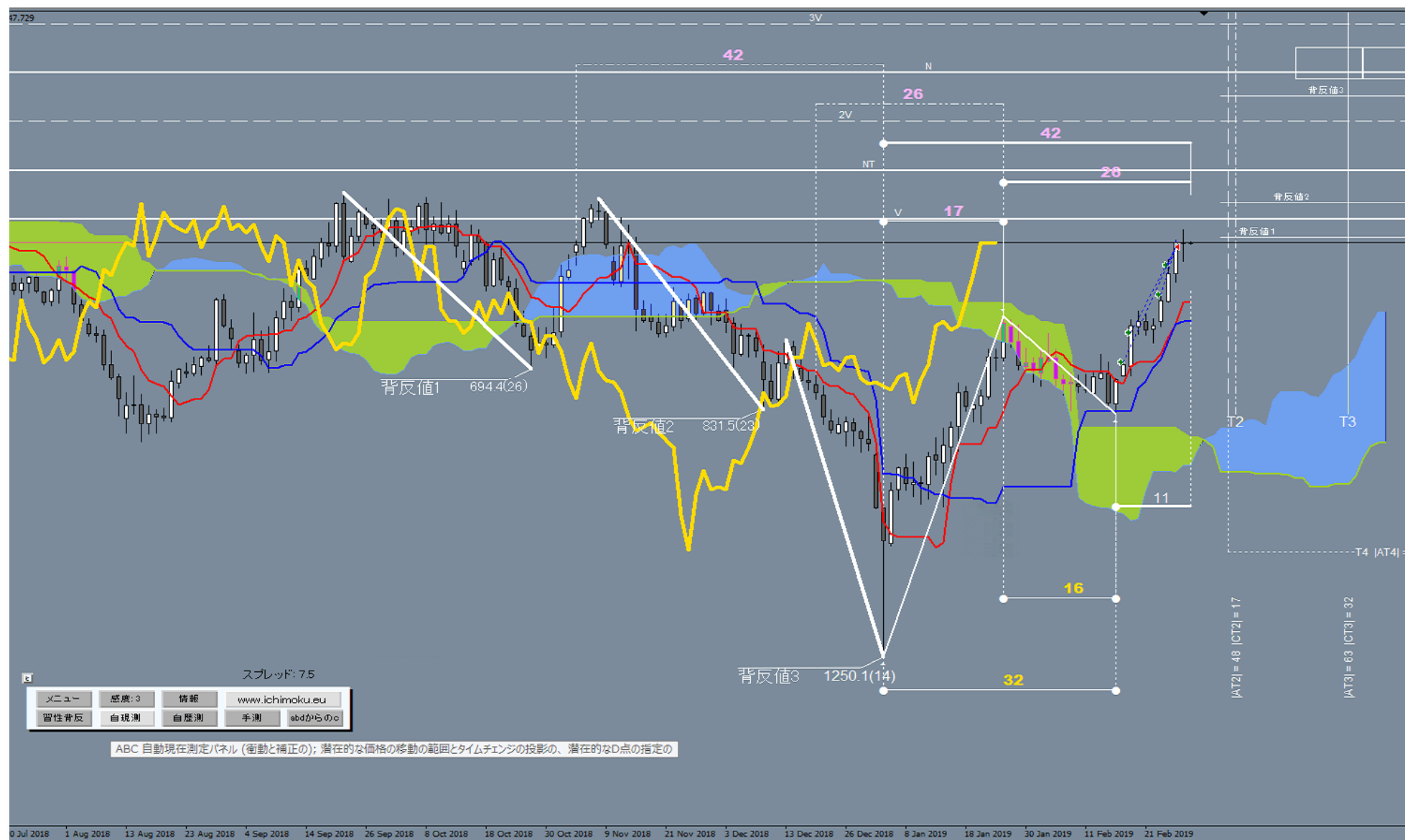




ichimoku.eu

Ichimoku waves meter

表示？
またはテクニカル分析のプロ
用ソフトウェア.



基本情報:

名前:

 **Ichimoku waves meter**

発展:

 **Piotr Fryjewicz**学士号エンジニア

コーディング:

 **Piotr Storozhenko**修士号







取引プラットフォーム専用の指標:

 **MetaTrader 4 / 5**

他の使用言語に配布および翻訳するための免許の持ち主:

 **Ichimoku Sp. z o. o.** www.ichimoku.eu

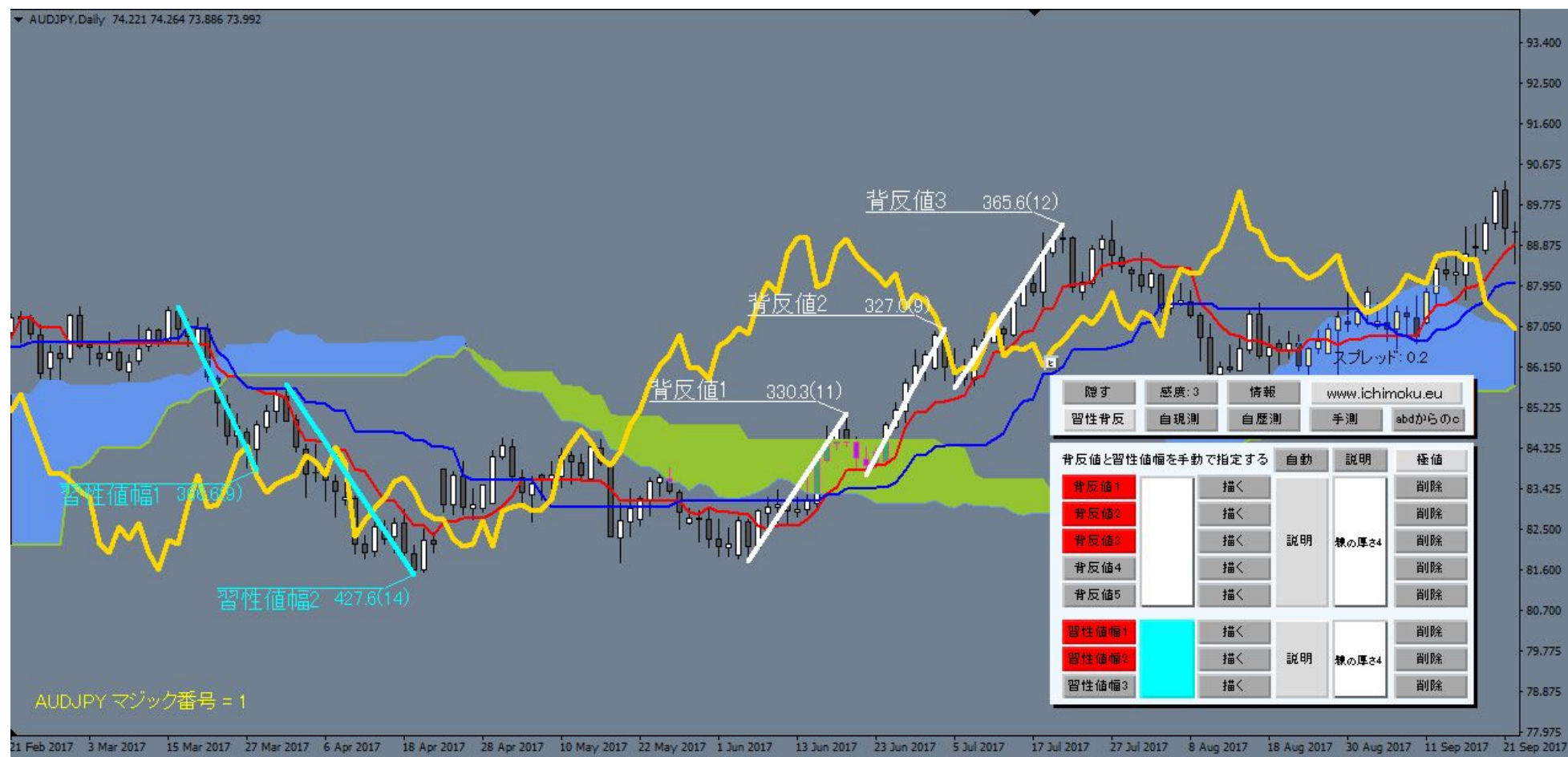
目次:

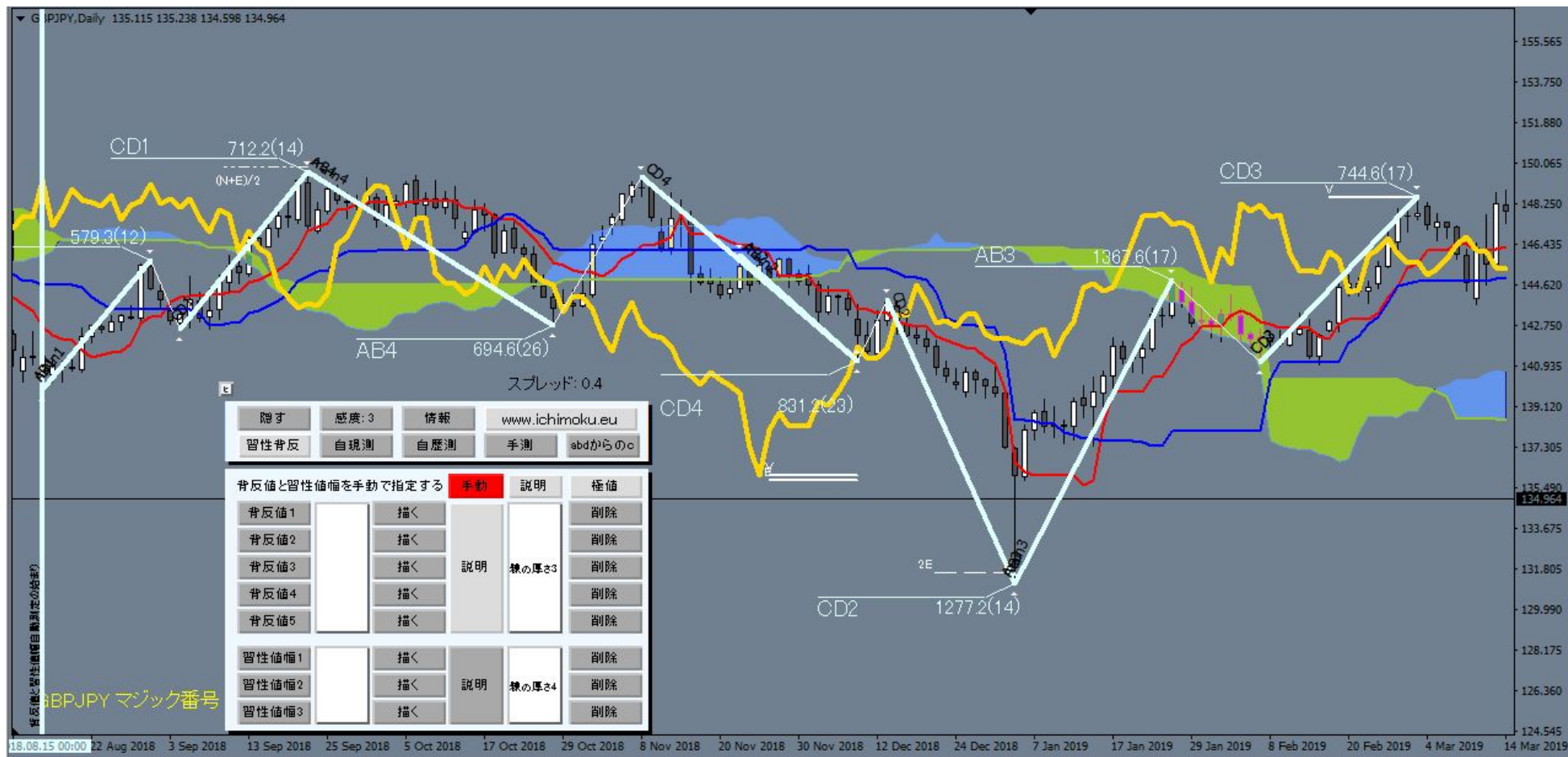
Ichimoku waves meter—基本的な測定、計算および視覚化の視覚化が利用可能本.....	1
基本機能モジュール:	1
 「習値」 — 習性値幅の測定パネル:	1
 「自現測」 — 自動的な現在 ABC測定パネル(衝動と補正の);価格の移動の潜在的な値幅の投影と 可能なDをマークしながら、 可能な変更の時刻の:	4
 「自歴測」 — 自動履歴 ABCD測定パネル(作られたN, Y, P, S涙);既存の関係を検証の:.....	11
 「手測」 — AB手動測定パネル /単一の衝動と補正の測定:	13
 「ABDからのC」 — 価格の習性値幅指定パネル(背反と習性)測定のA点から測定されていて,AとB点と架空のDレベルに基 づ く可能な補正深さの指定:	20
Ichimoku waves meter — 利用可能な追加の計算および視覚化機能.	22
 追加の機能:	22

Ichimoku waves meter—基本的な測定、計算および視覚化の視覚化が利用可能本.

基本機能モジュール:

- ✧ 「習値」 — 習性値幅の測定パネル:
- ✧ 「背習」 — 価格の習性値幅として与えられた衝動の量の自動的な測定と視覚化 (Pipsとバーの量, 即ち先に描かれた履歴的なABCD測定を使って自動的に選択された背反値と習性値幅,
- ✧ (採用された方法論に応じて蠟燭の極値または閉鎖によって測定された衝動や補正の)背反値として手動で選択された五つの部分の手動測定と視覚化 (Pipsとバーの量),
- ✧ (採用された方法論に応じて蠟燭の極値または閉鎖によって測定された衝動や補正の)背反値として手動で選択された三つの部分の手動測定と視覚化 (Pipsとバーの量),
- ✧ データ入力是个々の描画機能を選択して、図表にカーソルで直感的な2点指示で行う,
- ✧ 調整感度機能のおかげで,プログラムはそれ自身でカーソルで指し示された領域内の価格値を読むポイントを正確にして、示されたA_B点 (価格のマーカー)を接続する線を描く.





❧ 「自現測」 — 自動的な現在 **ABC測定パネル**(衝動と補正の);**価格の移動の潜在的な値幅の投影と 可能なDをマークしながら、**
可能な変更の時刻の:

❧ 図表から直接に計算データを取得するのに非常に簡単で迅速な方法:

- ❧ データ入力は描画機能を選択して、図表にカーソルで直感的な3点指示で行う,
- ❧ プログラムは、調整可能な感度機能のおかげで、カーソルで指し示された領域内で、それ自体で価格値を読むポイントを正確にする,
- ❧ プログラムはデータが取得されたところにグラフィックマーカを適用し、それはそれらの正当性検証を速くする:
 - ❧ 個別の価格マーカ(与えられたA, B, C点,A_B線とB_C線を接続する線),
 - ❧ 個別の時刻マーカ(A, BとC点の与えられた蠟燭の上の/下の三角形),
 - ❧ 価格と時刻のための別々のグラフィックマーカは、価格と時刻の割合を測定するために (1つの蠟燭形成内で) 同じまたは異なる蠟燭をマーキングする可能性を与える,
 - ❧ プログラムを使用すると、測定全体をキャンセルすることなく、選択した点を修正できる.
- ❧ プログラムには (採用されている方法に応じて) 蠟燭の極値または閉鎖による価格測定モードを簡単に選択するオプションが含まれている.

❧ 細田悟一さんの一目山人とその孫の細田鉄聖山人によって発明された式による与えられた衝動と修正に存在する関係の即時計算とグラフィック表示:

- ❧ 修正に存在する関係の即時計算とグラフィック表示:

- ✧ 可能な価格変動値幅と基本価格変動ねはばのグラフィック表示を参照する発明された関係:V, N, E, NT(水平で連続的な厚い線),
- ✧ V, N, EとNTの式の平均価格移動値幅(水平で,薄くて,ダッシュコロンので,限られた線),
- ✧ 複数価格移動範囲2E, 3E...7Eと2V, 3V...7V(水平で,薄い点線),
- ✧ 習性価格移動値幅(測定のC点から測定された / 水平で,薄くて,連続的で,限られた線)
- ✧ 背反価格移動値(測定のC点から測定された / 水平で,薄くて,連続的で,限られた線),
- ✧ メニューパネルレベルからすべてまたは特定の価格範囲を隠したり表示したりができる,
- ✧ 測定ごとに個別に選択された関数を直感的に思い出すこと.

✧ 変更時刻を参考にした発明関係:

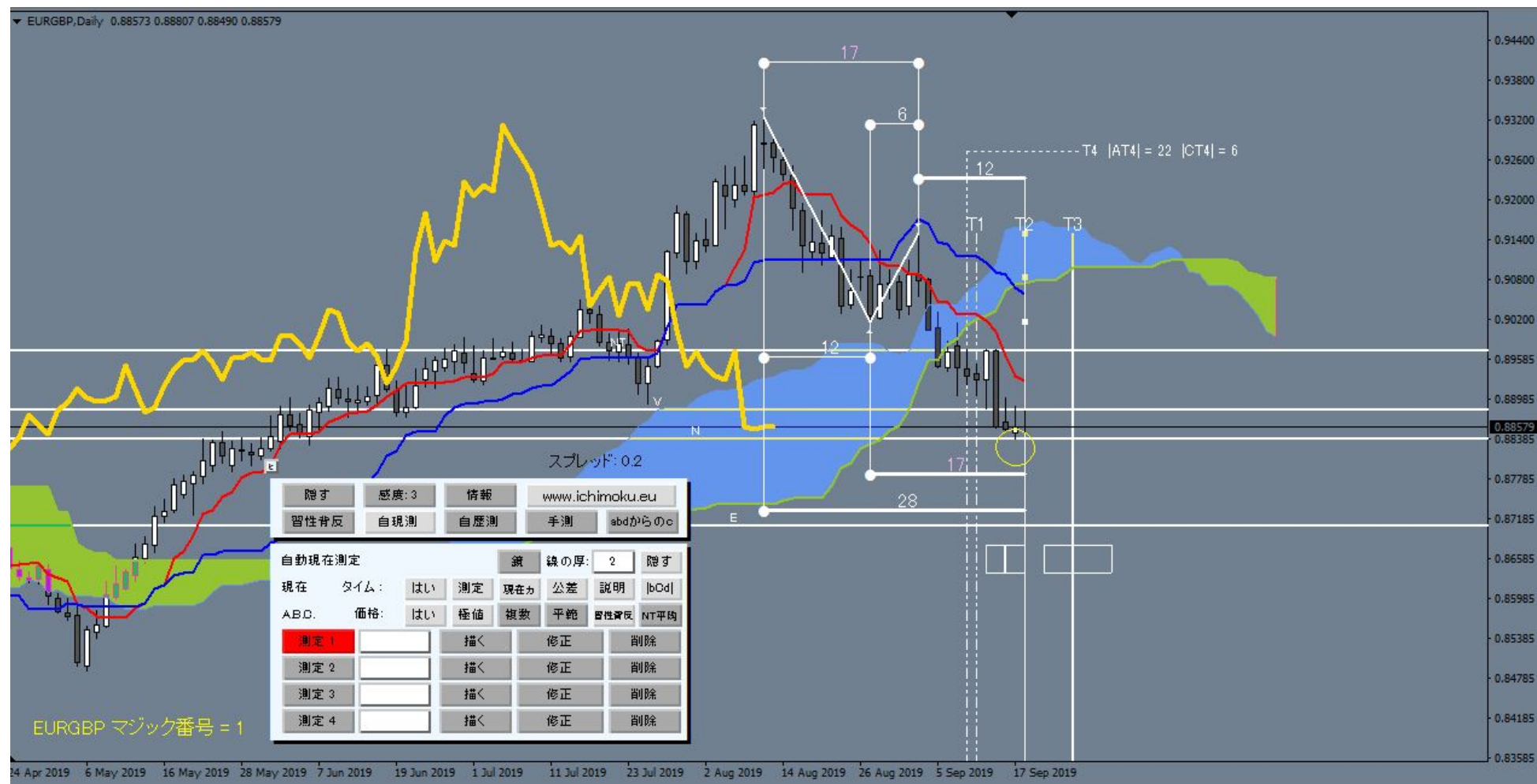
- ✧ 基本変更時刻値幅: T1とT3,
- ✧ 隔疑, 時刻変更値幅T2,
- ✧ 同等のT4 時刻変更値幅,
- ✧ 発明された|AT1|, |AT2|, |AT3|と|AT4|時刻変更値幅の測定のA点の値から移動の検証とすべてのT線の説明に結果を含める,
- ✧ 発明されたT1, T2, T3, T4時刻変更値幅のグラフィックの区別:
 - ✧ 基本周期と一致する (垂直で,連続的で, 暑くて,限れた線),
 - ✧ 追加周期と一致する(垂直で,連続的で, 暑くて,限れた線),

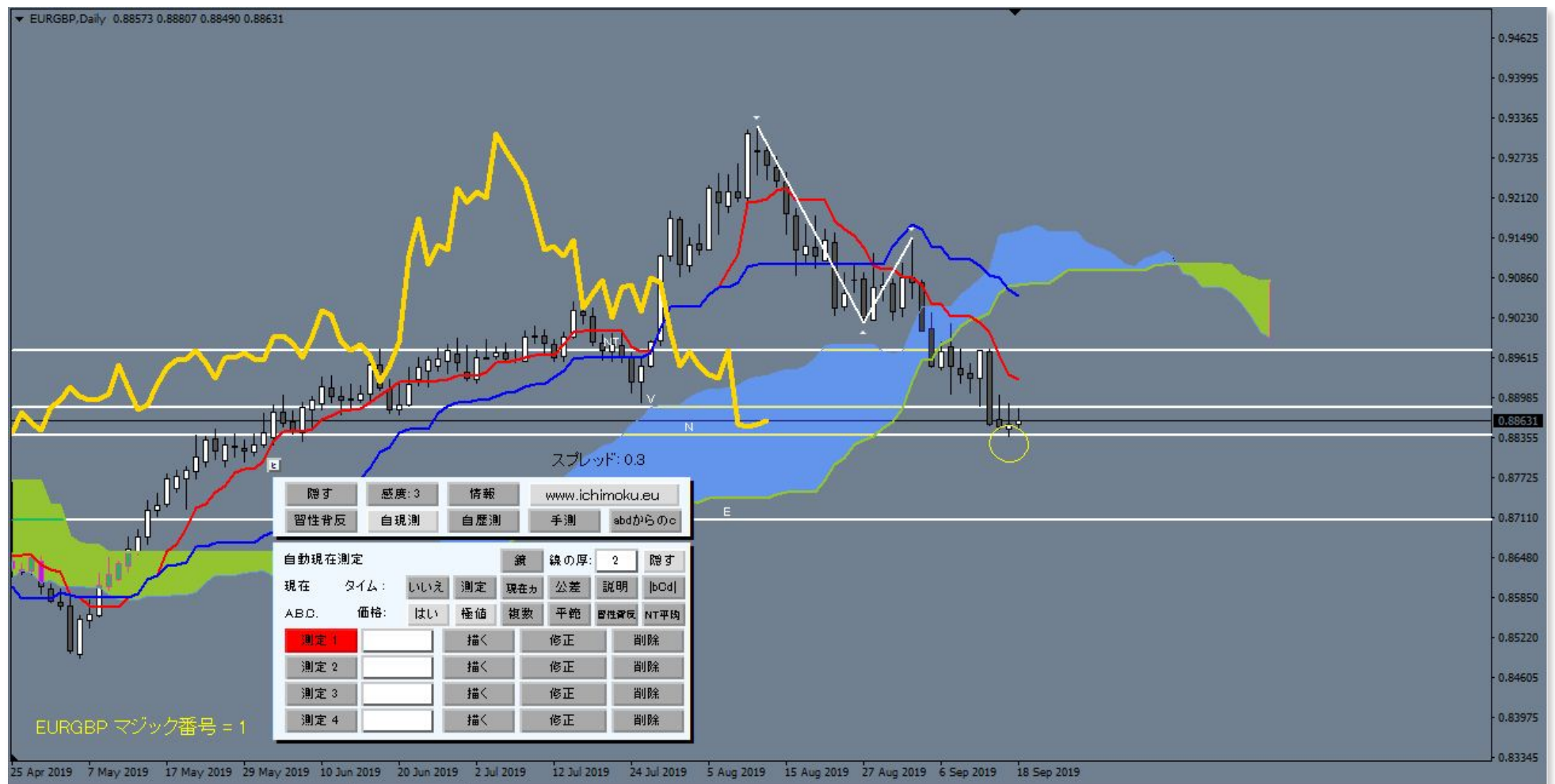
- ⚡ 平均周期と一致する(垂直で,薄くて,点在で,限られた線),
 - ⚡ 前述の周期と一致していないが、許容値幅内にあること(垂直で,連続的で, 暑くて,限れた線),
 - ⚡ 許容値幅外にあること (垂直で,薄くて,ダッシュコロンの限られた線),
 - ⚡ 与えられたT線配置のたわみを基本または追加からすばやく推定することを可能にしながらの (参照の) 許容誤差値幅とピボットラインのグラフィック表示.
- ⚡ 発明された|CT1|, |CT2|, |CT3|と|CT4||時刻変更値幅の測定のC点の値から移動の検証とすべてのT線の説明に結果を含める,
- ⚡ TF時刻精度(時刻枠)に基づいてされた結果が提示されているの情報パネルの可能な変更時刻フォーマットの計算の提示:年月日、時分,
- ⚡ A, Bと C点の間の蠟燭の量を測定する,
- ⚡ 現在カウンター — 毎A, BとC点から現在の蠟燭の量を測定する,毎バーに数えられている:
- ⚡ 周期が存在している間に基本,追加と平均周期の番号を別々の色でハイライトする,
 - ⚡ 基本と追加周期にもっとも近い周期の番号を別々の色でハイライトする(前の一つの周期と後の一つの周期),
 - ⚡ 区別リストに個々の周期を追加して、別々の色でハイライトする可能性,
 - ⚡ 鏡 — A、B、C点に反射した線を逆方向に測定する時刻電流カウンタにより、変更の瞬間と波の均一性を簡単に把握できる.

- ✧ メニューパネルレベルからすべてまたは選択された時刻測定機能を隠す/表示する可能性:
 - ✧ 測定ごとに個別に選択された機能をスマートに覚えること
 - ✧ 無効な変更時間値幅をスマートに隠すことT1, T2, T3, T4線と鏡,
 - ✧ 低い方から高い方のTF(時刻枠)への変更の時のすべての時刻測定線をスマートに隠すこと,
 - ✧ 変更時刻範囲の自動更新T1, T2, T3, T4線の配置,適切なグラフィックの比率を保つために新しい取引週を開く時に将来に表すこと.

✧ メニューパネルレベルから測定色と価格マーカ-の線の厚さを変更することが可能.

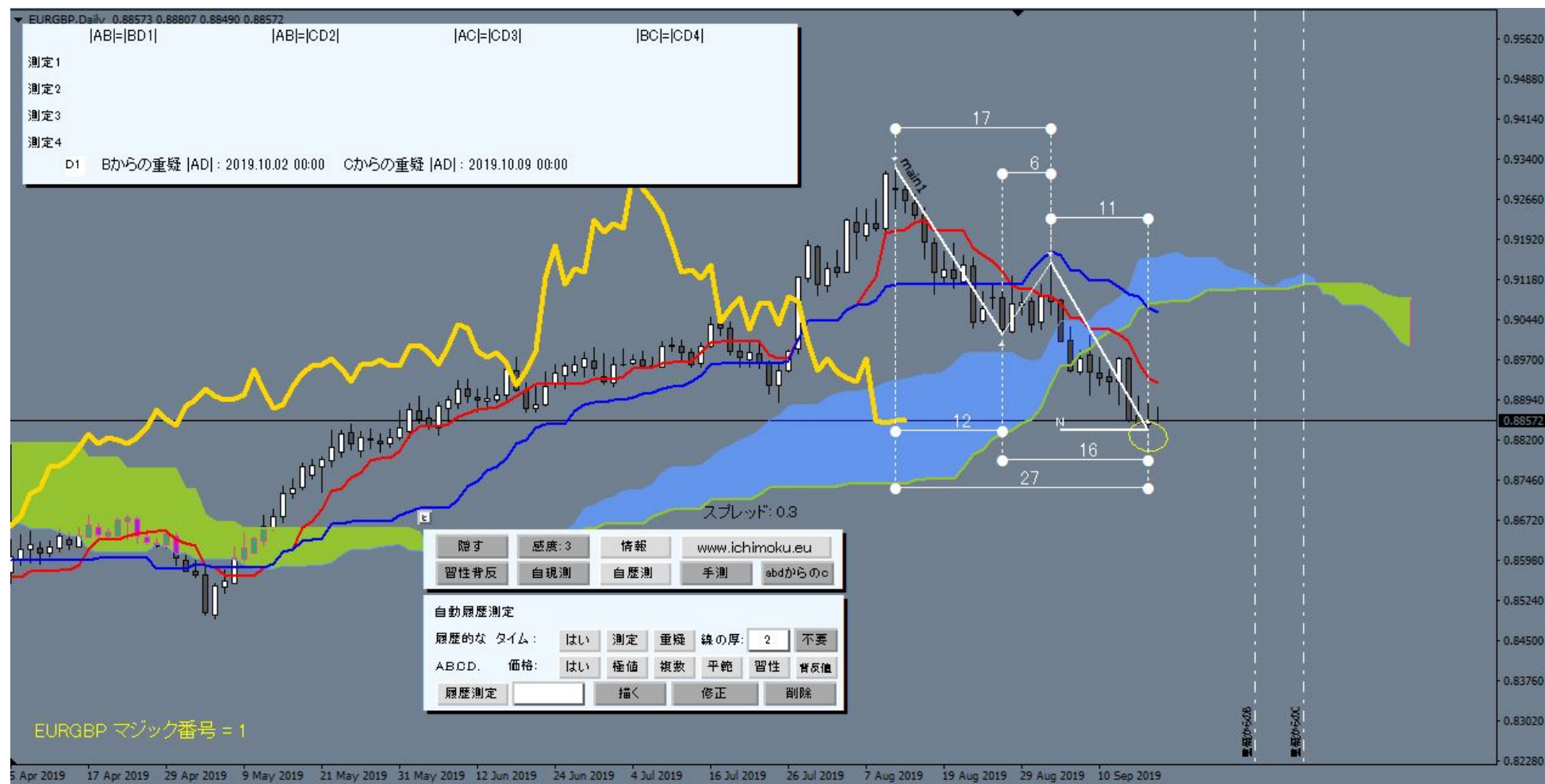
✧ 1つの図表で4つの独立した現在のABC測定を導出する可能性.



















- 「自歴測」 — 自動履歴 ABCD測定パネル(作られたN, Y, P, S涙);既存の関係を検証の:
- 図表から直接計算データを取得するための非常に簡単で迅速な方法 — 前述の自動現在ABC測定で行われた方法と同様; さらに点Dが表示される,
 - 与えられたABCDに存在する関係のすぐの計算とグラフィック提示; 前述の自動現在ABC測定で行われた方法と同様に導出された,
 - 時刻と価格の測定の選択された要素だけを図表に残すことの可能性,
 - 重疑時刻比率の設定の可能性:
 - 発明された重 疑変更時刻 値 幅のグラフィックの区別(垂直で薄い点線),
 - 可能な重疑変更時刻の計算の提示 (将来に表す) TF時刻精度 (時刻枠)に基づいてされた結果が提示されているの情報パネルのフォーマット: 年月日時分,
 - 適切なグラフィックの比率を保つために新しい取引週を開く自動的な重疑変更時刻 値 幅の線の配置更新、将来に表す.
 - 背反値と習性値幅を自動的に測定するために適用された履歴的なABCD測定を使うことは可能,
 - 図表に表す価格の習性値幅の検証と相関の可能性,
 - メニューパネルレベルから測定の色と衝動マーカー線の厚さの変更の可能性,
 - 一つの図表に独立の履歴的なABCD測定をいくらかでも派生することの可能性,
 - 与えられた測定を変更する可能性 — 測定の区別は、測定の後続番号によって行われる,
 - 低い方から高い方のTF時刻精度(時刻枠)への変更の時のすべての時刻測定線をスマートに隠すこと.





「手測」 — AB手動測定パネル / 単一の衝動と補正の測定:

-  図表から直接に計算データを取得するのに非常に簡単で迅速な方法 — 前述の手動現在ABC測定および履歴ABCD測定で行われた方法と同様,
-  燭の図表を特殊なバーが適用されている図表に変更すること, 「一目鎖」を説明するの, 壊れる瞬間 — テレンドのより合わせて:
 -  毎チック現在の九州足を更新すること,
 -  成長バーと低下バーの別々の色,
 -  一つのボタンのクリックで蠟燭の図表に引き返しの可能性,
 -  九州足の計算の設定と表示されたバーの量 の変更の可能性.
-  **現在単一測定**(与えられX点から現在の蠟燭までの時刻の測定):
 -  毎バー更新されている,
 -  金額制限なし,
 -  X測定の出発点への目に見えるヒッチ付きまたは目に見えるヒッチなしでの測定線を描くことの可能性 (垂直支え線,
 -  X測定のヒッチポイントに反映される逆方向測定線の時刻カウンタの理由で変更の瞬間と波を均等に捉える, 適用測定ごとに利用可能,
 -  間の最小距離を保つ Y 軸の測定線のスマートポジショニング:

- ✔ 後続の線,
- ✔ 測定内に存在する最大,
- ✔ TF(時刻枠)と関係のない測定の明快さ.

- ✔ 低いの方のTF(時刻枠)から高いの方のに変更する時に現在の時刻の測定線のスマート隠蔽,
- ✔ Xヒッチポイント,測定線の厚さ,種類と色の修正ができる.

✔ 単一の現在のPips 衝動の量の測定(与えられたX点から現在の蠟燭までの価格の測定)::

- ✔ 毎チック更新されているカウンター,
- ✔ カウンターには与えられたX測定の出発点から現在の蠟燭までのエリアの中の最大が含まれている,
- ✔ 蠟燭の極端または閉鎖によって測定ができる; 採用された方法論に従って、,
- ✔ プログラムは調整可能な感度機能のおかげで、カーソルで指し示された領域内でそれ自身で価格を読むことのポイントを正確にする,
- ✔ 金額制限なし,
- ✔ Xヒッチ点,測定線の厚さ,種類と色の修正ができる.

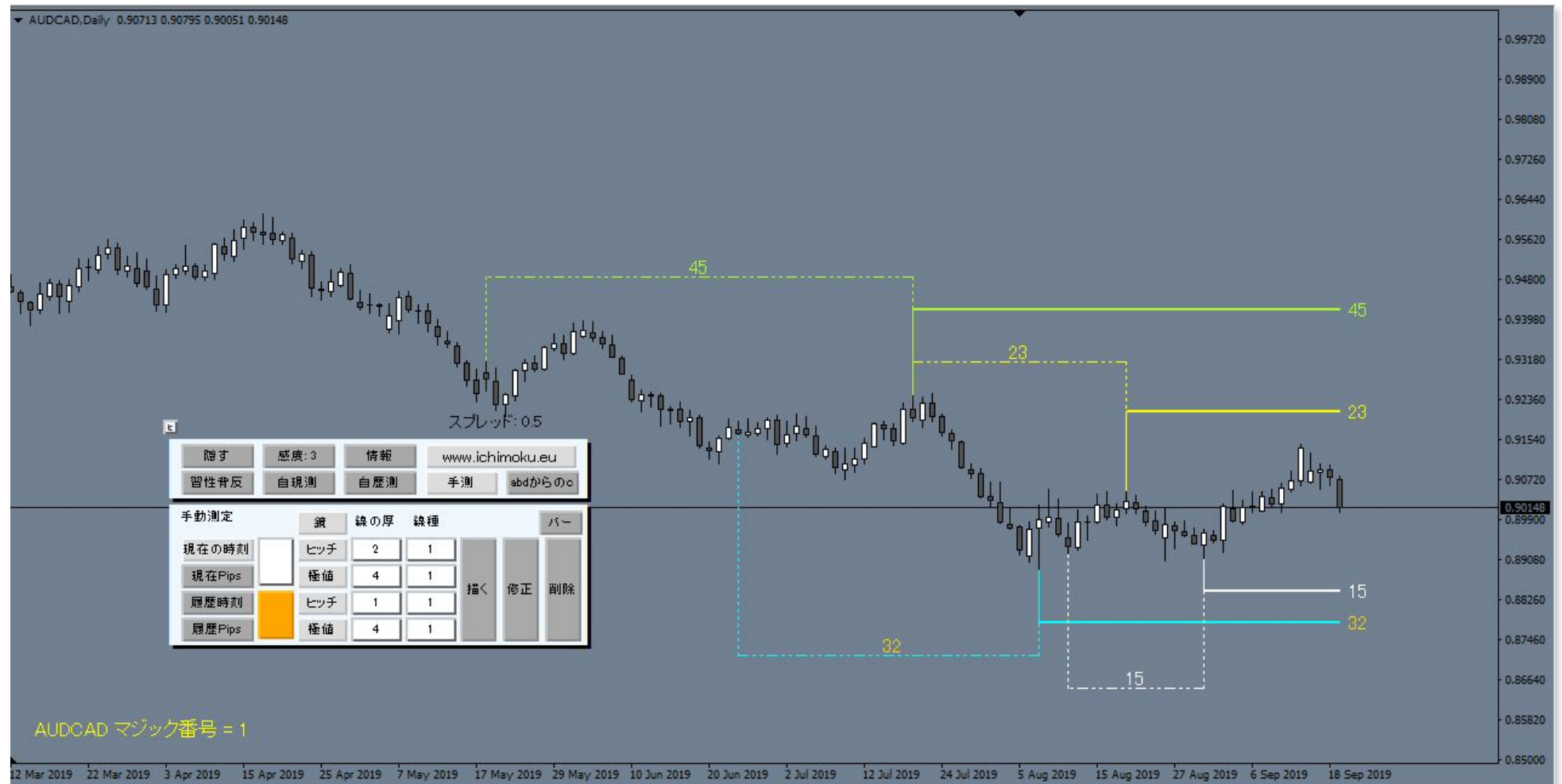
✔ 単一の履歴時刻測定—与えられたX1点からX2点までの時刻測定:

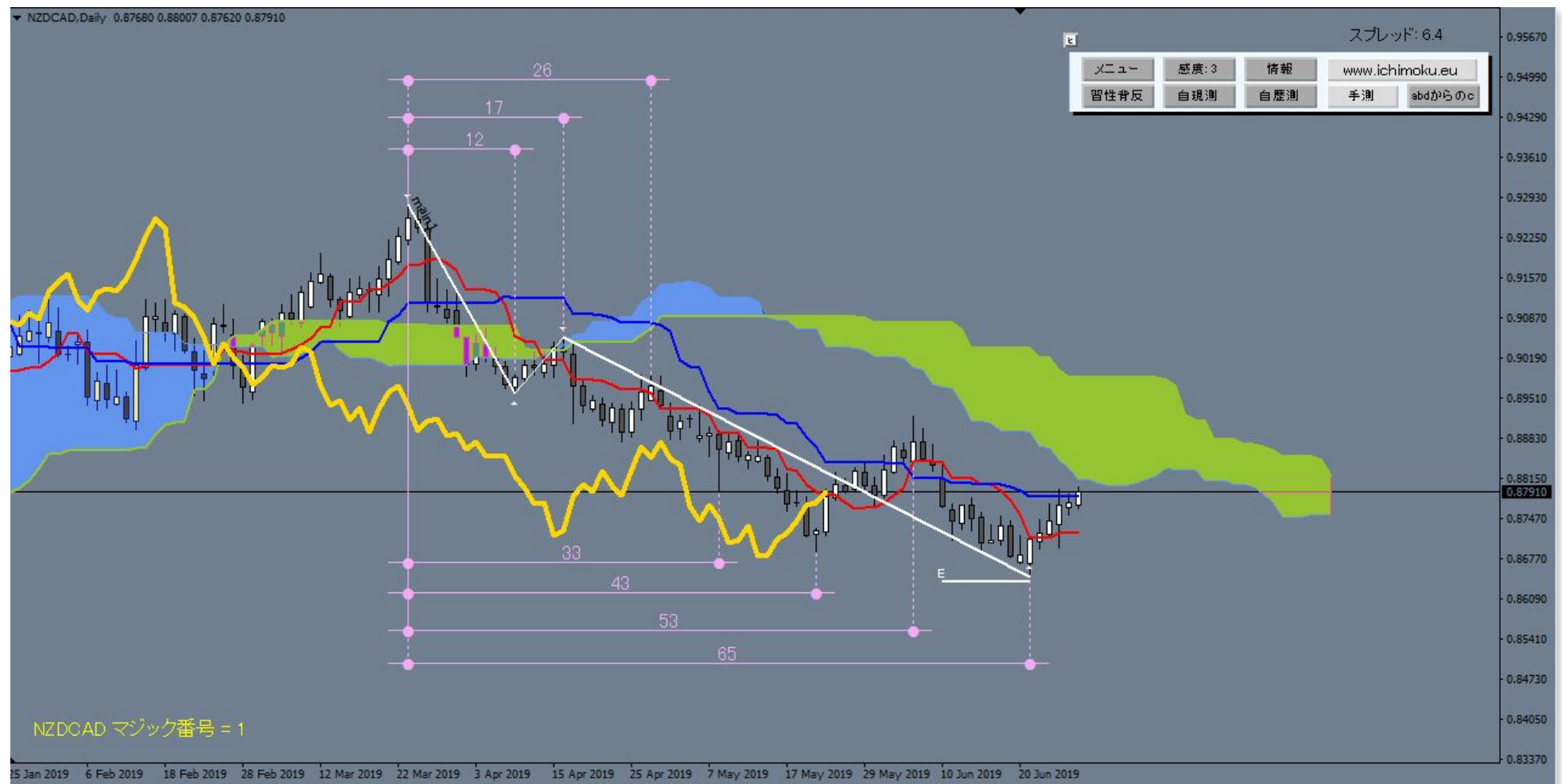
- ✔ 金額制限なし,

- ❧ 測定線をX1とX2測定の始まりと終わりのポイントのヒッチが見えるまたは(補助線)が見えないように描くことができる,
 - ❧ 低い方のTF(時刻枠)から高いの方のに変更する時に履歴時刻測定線のスマート隠蔽,
 - ❧ X1とX2ヒッチポイント, Y配置と測定線の厚さ,種類と色の修正ができる,
 - ❧ 視差ミスを最小限に抑えるために左から右へも、右から左へも測定ができる.
- ❧ **単一の履歴的なPips衝動の量の測定(与えられたA_Bセクションの価格的な測定):**
- ❧ データを取得するために描画機能を選択することと近似的で直感的にカーソルで図表に二つの点を指摘する,
 - ❧ プログラムは、調整可能な感度機能のおかげで、カーソルで指し示された領域内で、それ自体で価格値を読むポイントを正確にする,
 - ❧ 採用された方法論に応じて極値または閉鎖によって測定ができる,
 - ❧ 金額制限なし,
 - ❧ X1とX2ヒッチポイントと測定線の厚さ,種類と色の修正ができる.






















 「ABDからのC」 — 価格の習性値幅指定パネル(背反と習性)測定のA点から測定されていて、AとB点と架空のDレベルに基づく可能な補正深さの指定:

 測定のA点から測定されている背反値と習性値幅を指定するの簡単で速い方法;器具習性変動によって最初の衝動の開始フェーズの潜在的な価格変動値幅を指定させる::










-  描画機能を活性化する, A点とA点の時刻のあとのどんな点でも(衝動または補正の始まり)を移動方向として示す,測定された価格の習性値幅を示すのに十分,
-  プログラムは、調整可能な感度機能のおかげで、カーソルで指し示された領域内で、それ自体で価格値を読み取るポイントを正確にする,
-  プログラムは選択された点を修正することを可能にする,
-  適用された方法に応じて、蠟燭の極値または閉鎖によって指定ができる,
-  メニューパネルレベルから測定の色と価格マーカ線の厚さの変更が可能,
-  全部または選択された関数を隠す／示すことができる.

 二つの価格変動を期待することも、補正深さの推定もできる:

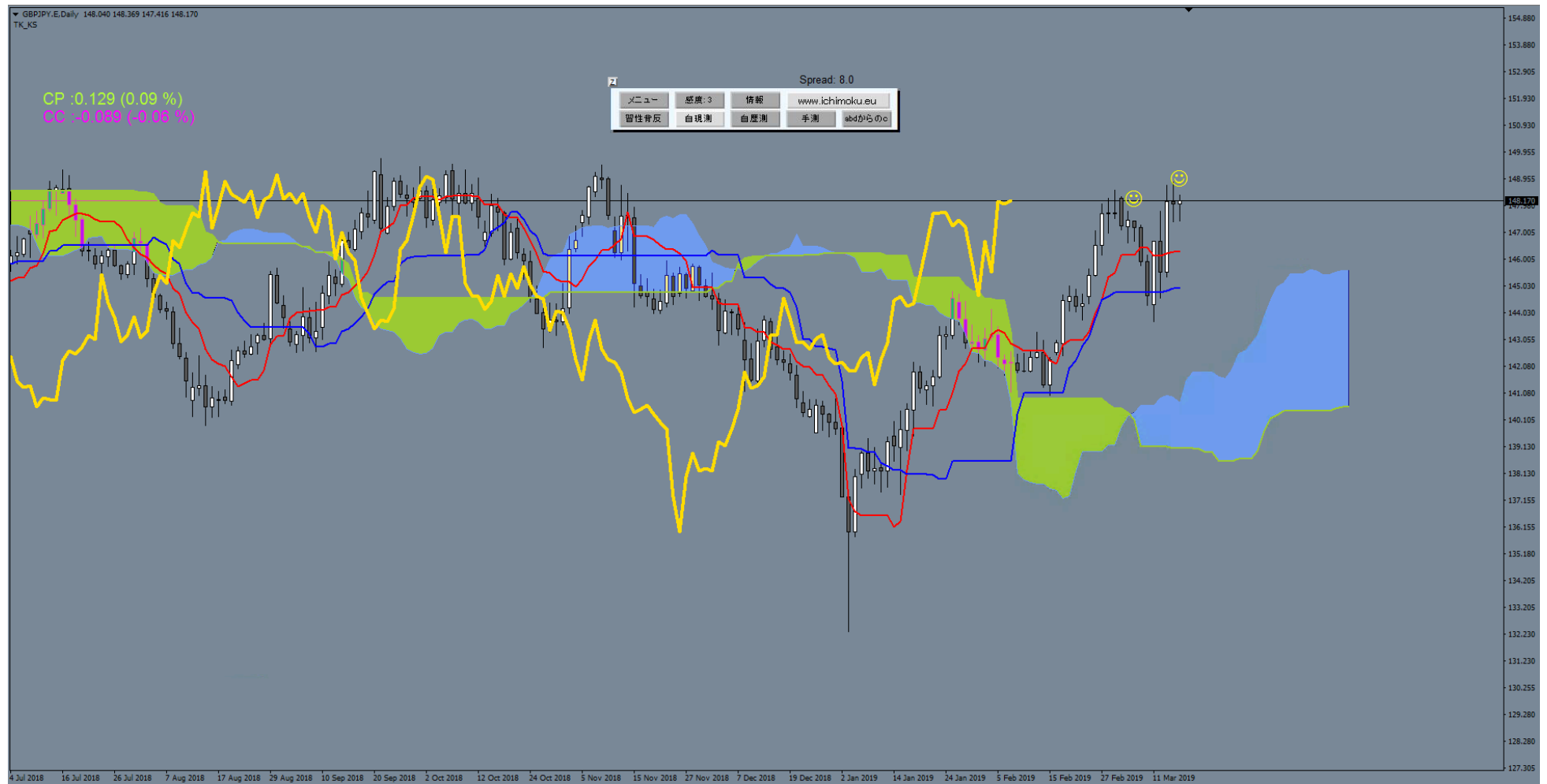
-  低いの方のTF(時刻棒)の専用されたA_B衝動に基づく、,
-  高いの方のTFから指定された価格変動幅に基づく; 架空のDレベル,
-  回心されたV, N, NT, 2V, 3V...7V値幅の式を使って,
-  想定されたN涙の目標レベルを表す活動的なD線を使って,
-  指定された補正深さの範囲の割合的なアプローチの提示の追加の可能性.

Ichimoku waves meter — 利用可能な追加の計算および視覚化機能.

追加の機能:

-  構築された中のバーの形成の自動グラフィック展示の可能性:
 -  極値によって数えられた,
 -  ボディーによって数えられた.
-  小さなメニューパネルで実際のスプレッドカウンターを表すこと,
-  価格変更の割合的なアプローチを表示することができる:
 -  „CP” 「終値」 終値から現在価格まで, 毎チック更新されている,
 -  „CC” 「最後から2番目の価格」 最後から2番目の価格から最後の終値まで, 毎バー更新されている.
-  関数のヒントと特別なメニューバーの働く方法のある活動的なバブル,
-  測定しながらメニューパネルの位置の滑らかな変化の可能性 — 図表のウィンドウにメニューを動き回すの可能性.

うちのwww.ichimoku.euウェブサイトに測定の工具 — 一目均衡表を使って分析のやさしさとスピードを見せるビデオをご覧ください.





ichimoku.eu

Ichimoku waves meter